

「過去に被災ない」は「関係ない」 3.11 災害の恐怖 学び備える大切さを実感

平成21年度～	徳島県防災教育推進モデル校の指定を受ける
平成23年3月11日	東日本大震災 発生
平成23年度～	防災教育の取り組みを見直し 次世代にあった防災教育の在り方を検討
平成24年度	文部科学省指定実践的防災教育推進事業を受ける

坂野小学校は海から近いものの、昭和南海地震では被災しなかった。「想定外」が起こるかもしれない。いつ起きても、みんなで助かる力をつけていきたい。

日常からいかに防災意識を高めていくか、子どもたちに浸透させるか、を考えていた。防災を特別なものではなく、教科教育や日常活動の中に、どう防災の視点を取り入れるかを考え、工夫した。

日常に 防災の視点を 取り入れる 工夫を

東日本大震災が起きて学習するまでは、地震や津波のことを全然知らなかった。

学習を通して、知らなかった地震や津波のことを知ることができ、嬉しかった。

〈教科教育の中での実践事例〉

生活	◎学校たんけん町たんけん(1・2年)
社会	◎坂野町ってどんな町?(3年)
	◎安全なまちをめざそう(4年)
	◎くらしをささえる情報(5年)
算数	◎校舎3階の高さはどのくらい?(3年)
	◎坂野小学校児童の大家族が体育館で避難生活。1家族あたりは?(5年)
	◎津波到来の速さは?(6年)
理科	◎流れる水のはやさ(5年)
	◎大地のつくりと変化(6年)



〈避難訓練・防災訓練の工夫〉

- ◎毎月1回は実施
 - ◎授業中や休み時間に実施
 - ◎掃除時間に実施
 - ◎登校時に実施
 - ◎下校時に実施
 - ◎予告なしで実施
 - ◎第3避難場所まで駆け足
- ※地震・津波などを想定

何かあったときは、坂野小学校に迷わず避難してほしい。

自分の命だけでなく、他の人の命も守りたい。みんなで声をかけあって避難したい。

地域の方と共に助け合い、 一緒に坂野を守る



保護者や地域によびかけて防災活動を進めた。防災活動を通して、地域と学校の繋がりが深くなり、地域連携の重要性を再確認した。



地域に関心がなかった子どもたち。学習を通して地域の危険を知った。そして、「小さい子を守る」、「自分たちの地域を守る」意識が育ってきている。